



Walk in home 16 Rel1.00

機能改善



平成28年 4月 1日

(株) DTS



目次

1. 平面入力機能改善.....	4
1-1. 拡張 AI 建具の自動生成.....	4
2. パース機能改善.....	6
2-1. 壁の有無による長押、付鴨居の表示改善.....	6
2-2. 廻縁の表示改善.....	7
2-3. 地下+1階床下げ時の表示改善.....	12
2-4. 小屋層の吹抜けの表示改善.....	13
2-5. トップライト部の天井の表示改善.....	14
3. 積算数量機能改善.....	15
3-1. デザイン廻縁積算数量.....	15
3-2. バルコニーヶ所数積算数量.....	16
4. 構造関連機能改善.....	17
4-1. 垂木入力機能改善.....	17
5. 性能表示機能改善.....	18
5-1. 構造の安定の平屋対応.....	18



DTS <http://www.walk-in-home.com/>

※Walk in home シリーズは、株式会社 DTS の開発製品です。

Walk in home は、株式会社 DTS の登録商標です。

※Microsoft Word, Microsoft Excel, Microsoft Access は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

※JW-CAD はフリーの 2 次元汎用 CAD アプリケーションソフトウェアです。

プログラム、ドキュメントおよび付属ファイルの知的所有権は、

以下のとおり著作権者が有します。

Copyright (C)1997-2010 Jiro Shimizu & Yoshifumi Tanaka



1. 平面入力機能改善

1-1. 拡張 AI 建具の自動生成

拡張 AI 建具の設定で、「1階」「その他」の設定項目で、「1階」の設定が自動生成に反映されない現象を修正しました。

<以下のように設定した場合>

AI建具の設定

設定ファイル(S)

1階(L): 111 詳細...

その他(S): 222 詳細...

手書き認識用... OK キャンセル

詳細設定

設定名称(N): 111

外部建具 | 内部建具 | 窓内法高 |

部屋タイプ	外部タイプ	0.5P	1.0P	1.5P
指定無	*	上げ下げ	引き違い2枚	台形出窓60
玄関	外部	上げ下げ	引き違い2枚	引き違い2枚
玄関	外部テラス	FDX	玄関戸	片開き片...
玄関	外部土間	FDX	勝手口	勝手口
和室	外部テラス	内障子有2枚	内障子有2枚	内障子有2枚
洋室	外部テラス	勝手口	勝手口	掃出2枚
洋室	バルコニー	勝手口	掃出2枚	掃出2枚
トイレ	外部	なし	片開き	なし

追加
コピー
削除
▲
▼

設定を保存... OK キャンセル

詳細設定

設定名称(N): 222

外部建具 | 内部建具 | 窓内法高 |

部屋タイプ	外部タイプ	0.5P	1.0P	1.5P
指定無	*	上げ下げ	引き違い2枚	台形出窓60
玄関	外部	上げ下げ	引き違い2枚	引き違い2枚
玄関	外部テラス	FDX	玄関戸	片開き片...
玄関	外部土間	FDX	勝手口	勝手口
和室	外部テラス	内障子有2枚	内障子有2枚	内障子有2枚
洋室	外部テラス	勝手口	勝手口	掃出2枚
洋室	バルコニー	勝手口	掃出2枚	掃出2枚
トイレ	外部	なし	シャワー	なし

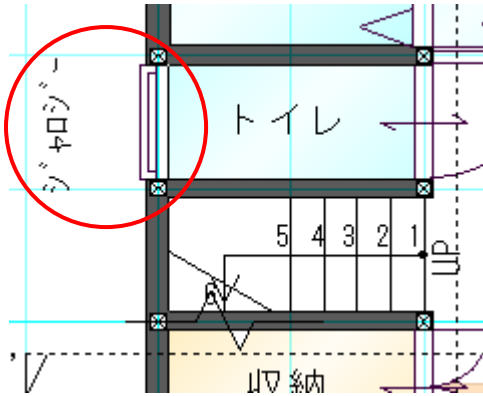
追加
コピー
削除
▲
▼

設定を保存... OK キャンセル



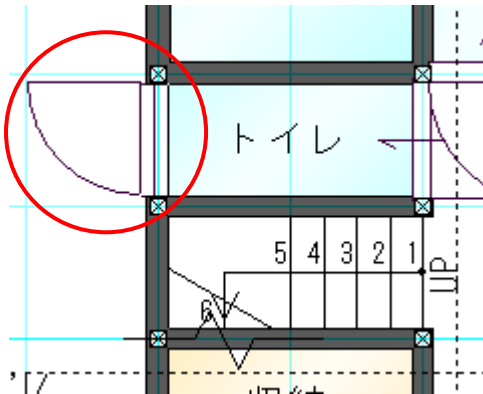
・修正前

自動生成時、1階トイレ窓が上記設定で「その他」に設定した窓が生成されていました。



・修正後

自動生成時、1階トイレ窓が上記設定で「1階」に設定した窓が生成されます。



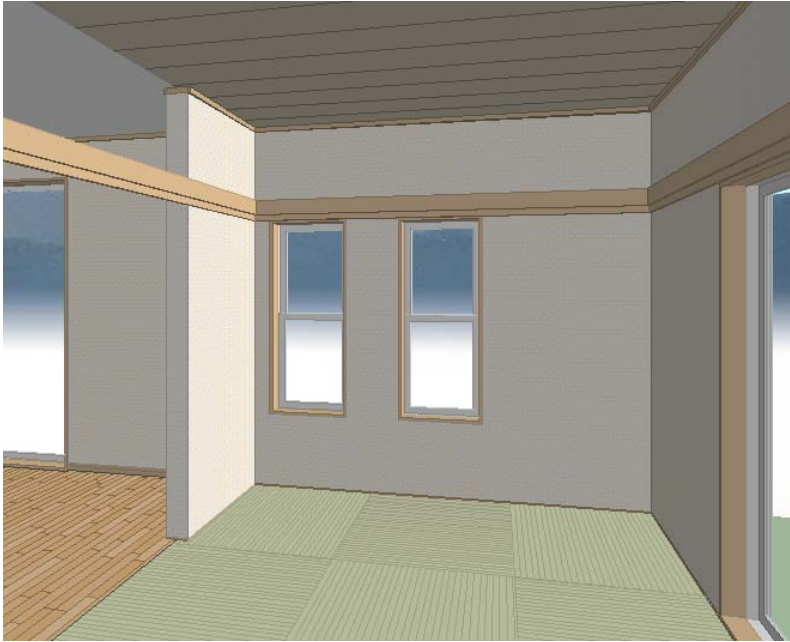


2. パースの機能改善

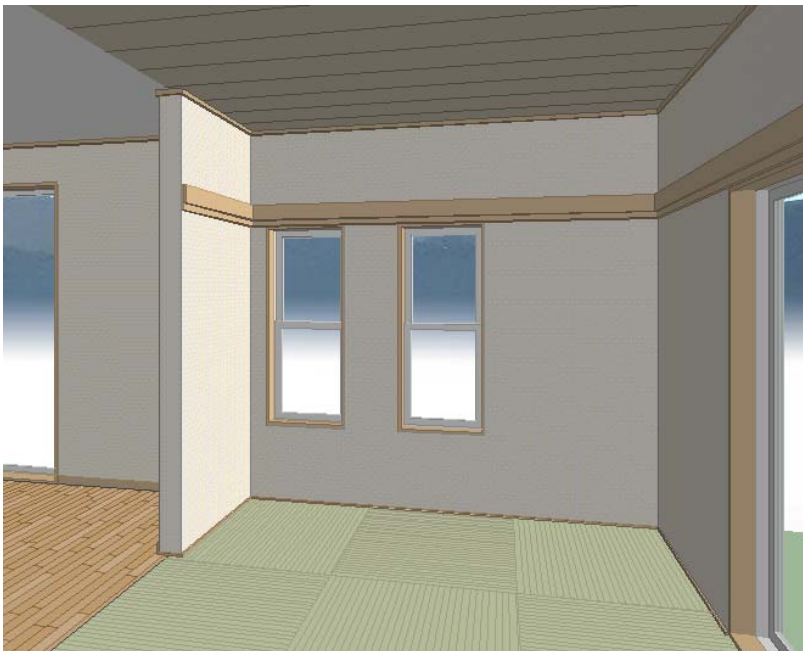
2-1. 長押/付鴨居の表示改善

和室の部屋の境界上であれば壁が無い場合でも長押/付鴨居を生成していましたが、壁が無い部分には生成しないように改善しました。

・ 修正前



・ 修正後





2-2. 廻縁の表示改善

1) 建具部分の廻縁表示改善

建具が天井まで達する場合に廻縁が建具に重なって表示されていましたが、建具部には表示しないように改善しました。

・修正前



・修正後

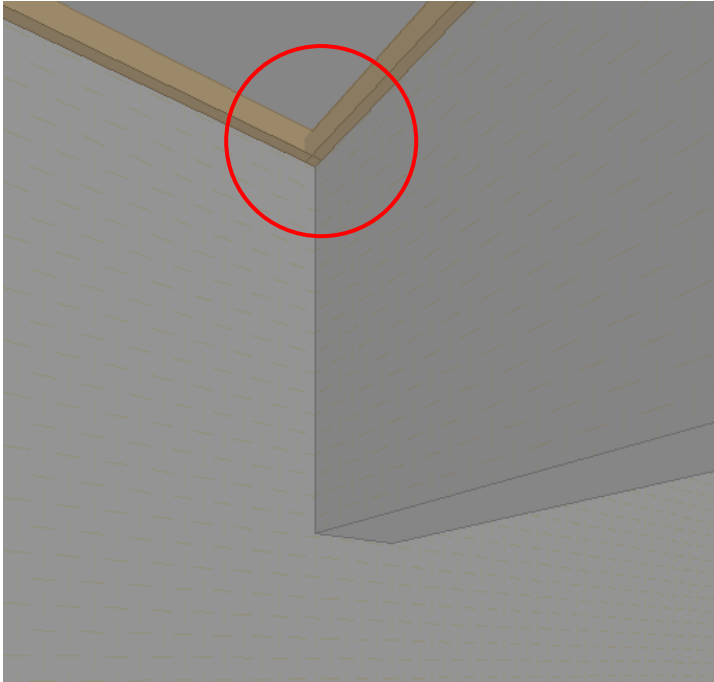




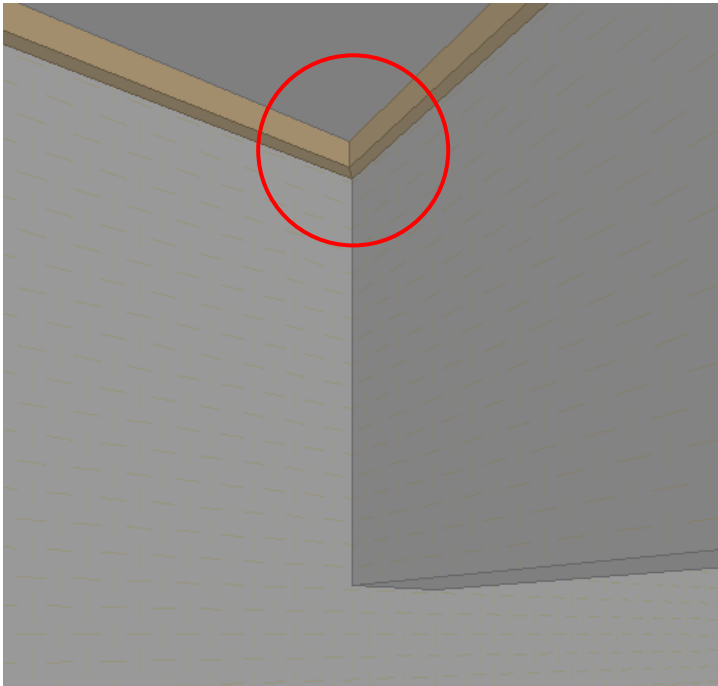
2) 下がり壁の廻縁包絡表示の改善

部屋領域上と下がり壁の廻縁部分を包絡するように改善しました。

・ 修正前



・ 修正後

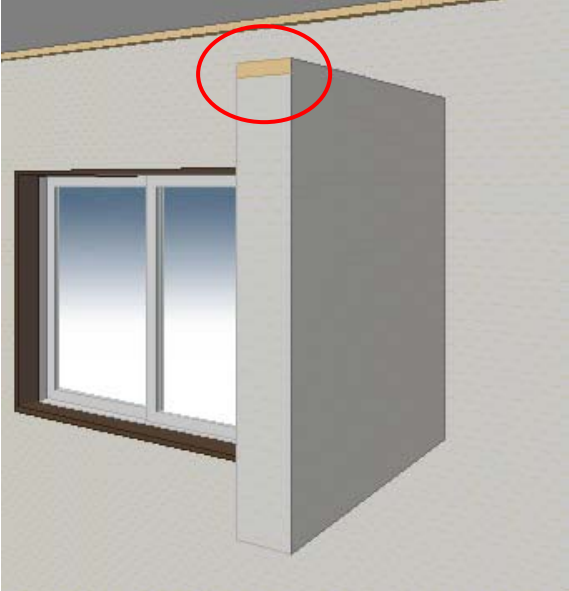




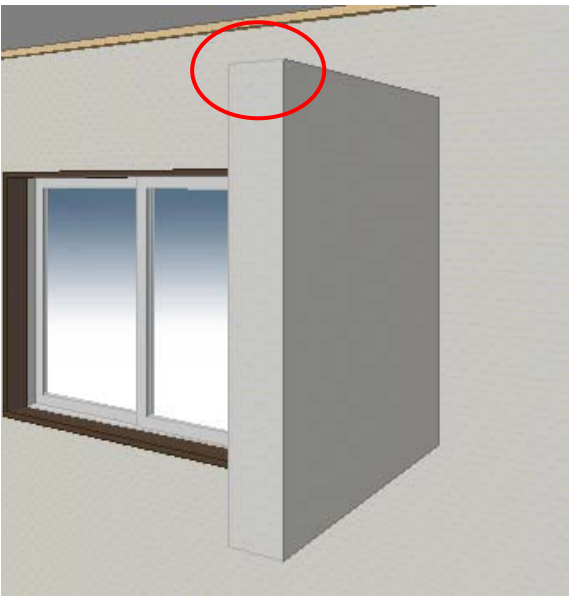
3) 下がり壁の小口面に対する廻縁表示の改善

天井に達してない下り壁の小口面上端に廻縁が生成されていましたが、生成しないよう改善しました。

・修正前



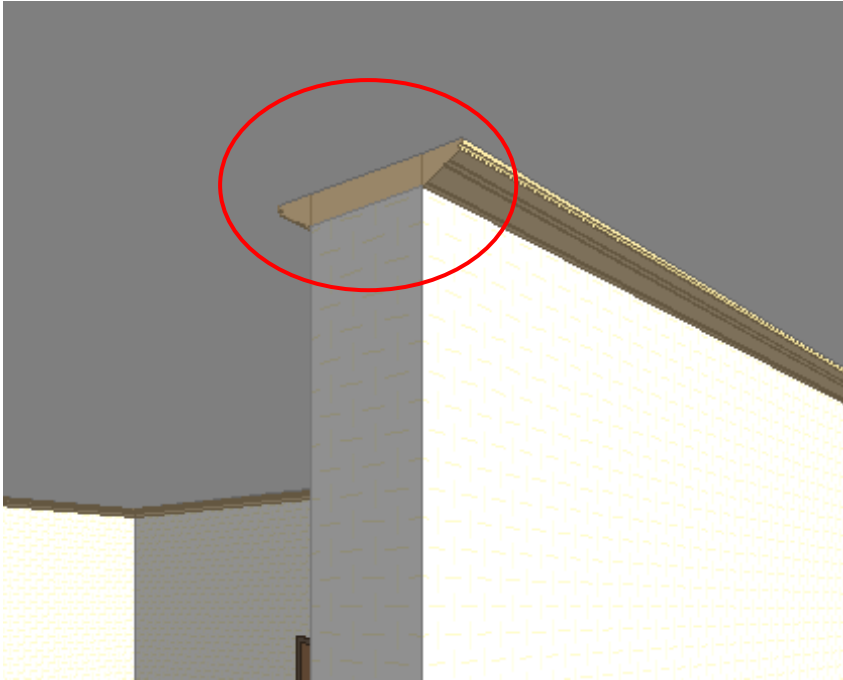
・修正後



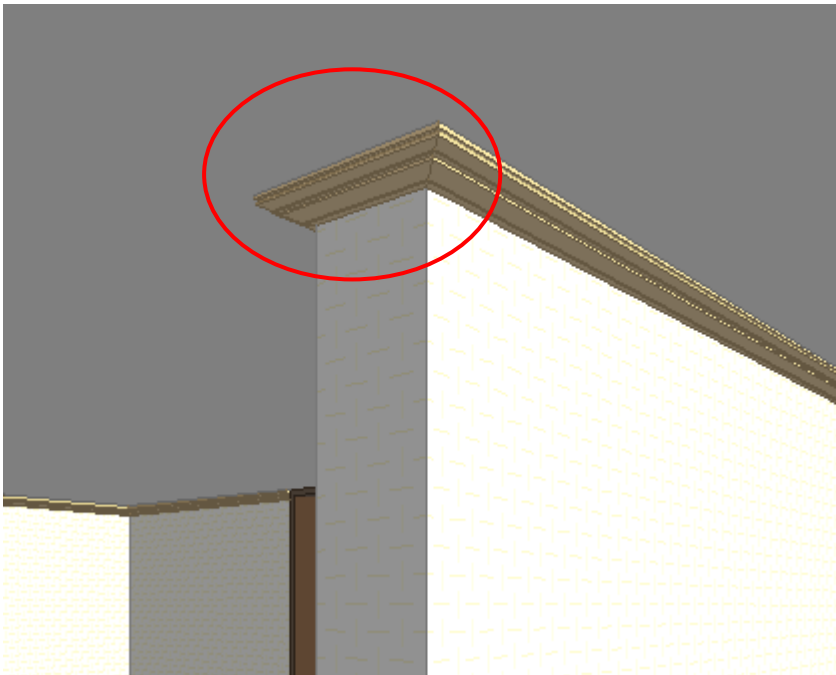


また、壁の小口面の廻縁は厚さが反映されていませんでしたが、反映するよう改善しました。

・ 修正前



・ 修正後





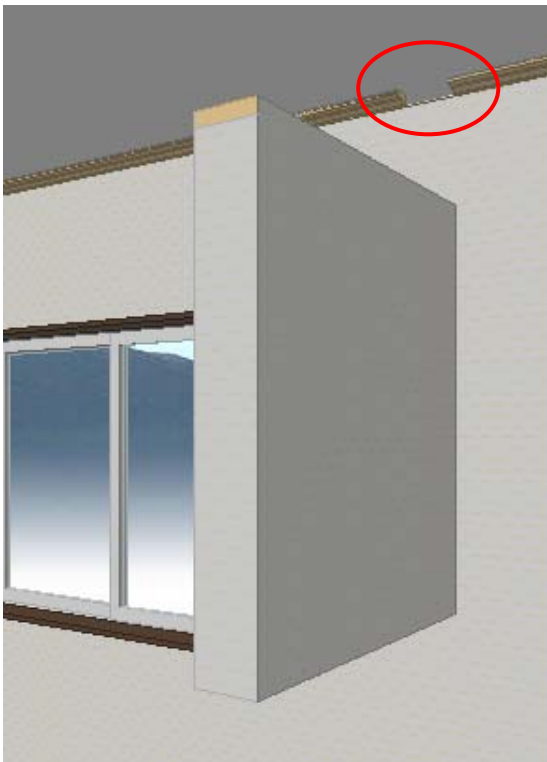
4) デザイン廻縁表示の改善

デザイン廻縁使用時、天井に達していない下り壁の直上の廻縁が切れていましたが、切れないように修正しました。



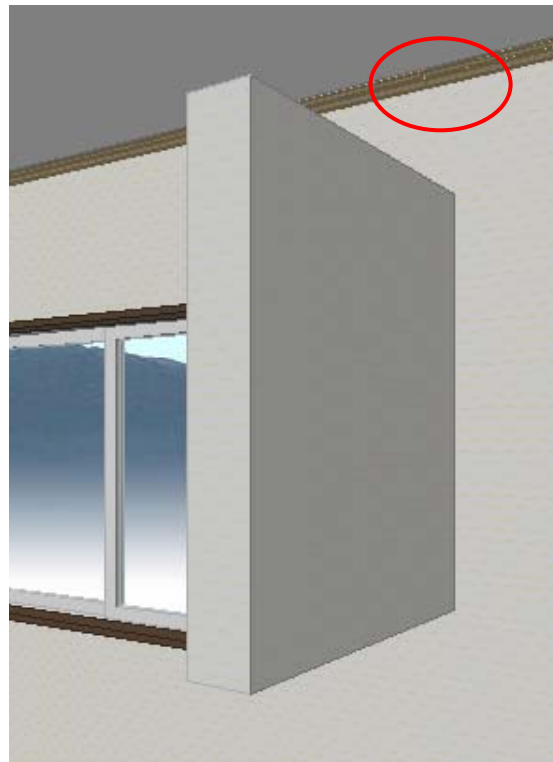
・修正前

廻縁が切れている



・修正後

廻縁が切れていない





2-3. 地下+1階床下げ時の表示改善

地下があるケースで1階床高さをある一定以上に下げた場合、OpenGLモードでは、床部は基礎と認識していました。

「部屋」として認識するように改善しました。

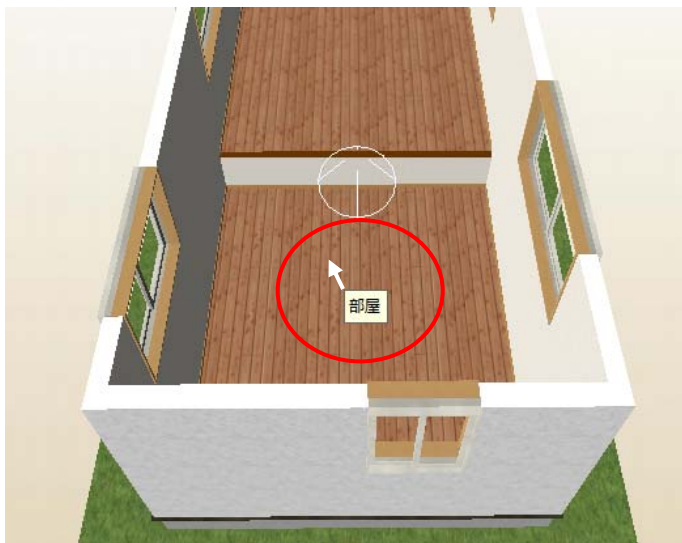
・修正前

床にカーソルを合わせた時ツールチップが「基礎」になる



・修正後

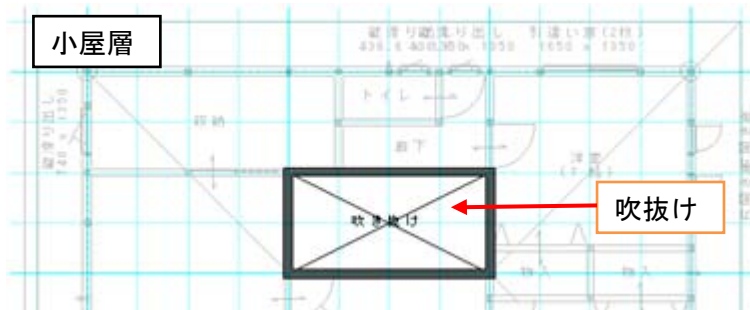
床にカーソルを合わせた時ツールチップが「部屋」になる





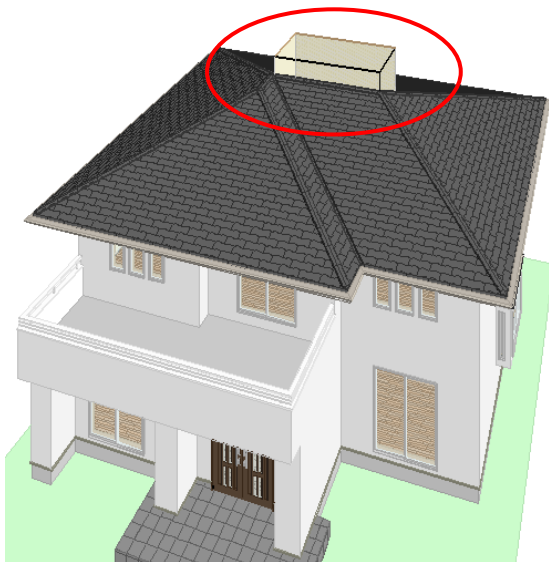
2-4. 小屋層の吹抜けの表示改善

小屋層に吹抜のみを入力した時、建物共通情報の天井高まで壁が強制的に作られていましたが、下層の屋根で止まるように改善しました。



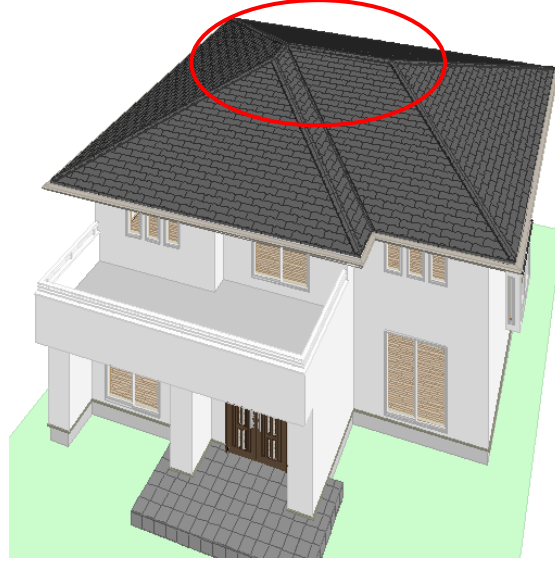
・修正前

壁が屋根を突き抜ける



・修正後

壁が屋根を突き抜けない



※階段上の小屋層の吹抜けには対応していません。



2-5. トップライト部の天井の表示改善

トップライトがある時、内観ではその部屋の天井高を屋根の高さ以上に設定をしないと表示されませんでした。天井の形状に応じて表示するように改善しました。

・修正前

天井高を屋根の高さにした時のみ表示

天井高：屋根面までの値

天井高：標準

天井高：部分天井



・修正後

天井高に応じて表示

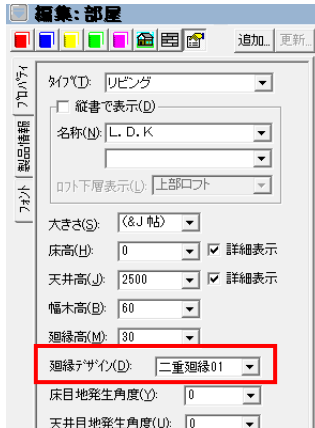




3. 積算数量の機能改善

3-1. デザイン廻縁積算数量

デザイン廻縁が積算数量に算出されていませんでしたが、算出するように改善しました。



・修正前

積算数量確認

表示リスト	No	項目名	数量	単位
基本数量	1001	1階 廊下 床面積	1.65	m ²
面積関連	1002	1階 廊下 壁面積	10.59	m ²
積算関連	1003	1階 廊下 天井面積	1.65	m ²
屋根関連	1004	1階 廊下 幅木長さ	4.94	m
外部関連	1005	1階 廊下 廻縁長さ	0.00	m
敷地関連	1006	1階 廊下 部屋外ア	2.00	番
基礎伏	1007	1階 廊下 床高from基準FL	-0.30	m
構造関連	1008	1階 廊下 最高天井高from床	2.70	m
外部建具	1009	1階 廊下 部分壁面積	0.00	m ²
出窓	1011	1階 L. D. K 床面積	28.15	m ²
内部建具	1012	1階 L. D. K 壁面積	36.50	m ²
建具付属	1013	1階 L. D. K 天井面積	28.15	m ²
部屋(集約)	1014	1階 L. D. K 幅木長さ	17.05	m
室内関連	1015	1階 L. D. K 廻縁長さ	0.00	m
部屋(個別)	1016	1階 L. D. K 部屋外ア	9.00	番
部屋(個別詳細)	1017	1階 L. D. K 床高from基準FL	0.00	m
バルコニー(個別)	1018	1階 L. D. K 最高天井高from床	2.50	m
	1019	1階 L. D. K 部分壁面積	0.00	m ²
	1021	2階 L. D. K 床面積	29.81	m ²

リフォーム指示: [通常] 小数点桁設定 ファイルに出力 閉じる

・修正後

積算数量確認

表示リスト	No	項目名	数量	単位
基本数量	1001	1階 廊下 床面積	1.65	m ²
面積関連	1002	1階 廊下 壁面積	10.59	m ²
積算関連	1003	1階 廊下 天井面積	1.65	m ²
屋根関連	1004	1階 廊下 幅木長さ	4.94	m
外部関連	1005	1階 廊下 廻縁長さ	4.94	m
敷地関連	1006	1階 廊下 部屋外ア	2.00	番
基礎伏	1007	1階 廊下 床高from基準FL	-0.30	m
構造関連	1008	1階 廊下 最高天井高from床	2.70	m
外部建具	1009	1階 廊下 部分壁面積	0.00	m ²
出窓	1011	1階 L. D. K 床面積	28.15	m ²
内部建具	1012	1階 L. D. K 壁面積	36.50	m ²
建具付属	1013	1階 L. D. K 天井面積	28.15	m ²
部屋(集約)	1014	1階 L. D. K 幅木長さ	17.05	m
室内関連	1015	1階 L. D. K 廻縁長さ	17.81	m
部屋(個別)	1016	1階 L. D. K 部屋外ア	9.00	番
部屋(個別詳細)	1017	1階 L. D. K 床高from基準FL	0.00	m
バルコニー(個別)	1018	1階 L. D. K 最高天井高from床	2.50	m
	1019	1階 L. D. K 部分壁面積	0.00	m ²
	1021	2階 L. D. K 床面積	29.81	m ²

リフォーム指示: [通常] 小数点桁設定 ファイルに出力 閉じる

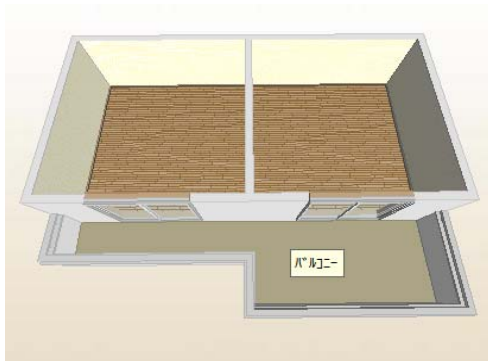


3-2. バルコニーヶ所数積算数量

1ヶ所のバルコニーを入力した時、その形状が下層壁で2分されるケースにおいて(下図のケース)、積算数量のバルコニーヶ所数を『2ヶ所』と算出していましたが、『1ヶ所』と算出するよう改善しました。

1ヶ所のバルコニーを入力

下から見上げると2ヶ所に分割されている



・修正前

2ヶ所で算出

積算数量確認

表示リスト	No	項目名	数量	単位
基本数量	71	外天井面積	0.00	m ²
面積関連	499	外天井下部外壁見切長	0.00	m
積算関連	500	外天井上部外壁見切長	0.00	m
屋根関連	72	バルコニー	2.00	ヶ
外部関連	661	バルコニー入刀心面積	9.93	m ²
敷地関連	73	バルコニー床面積	8.62	m ²
基礎伏	74	バルコニー底部面積	6.77	m ²
構造関連	75	バルコニー部壁側壁面積	9.65	m ²
外部建具	8250	バルコニー外壁側壁面積	12.97	m ²
出窓	76	バルコニー手摺壁長さ	10.79	m
内部建具	8214	バルコニー手摺壁芯長さ	18.20	m
建具付属	77	バルコニー面格子	0.00	ヶ
部屋(集約)	78	バルコニー面格子開口面積	0.00	m ²
室内関連	477	バルコニー周長	18.20	m
部屋(個別)	478	バルコニー下端水切り長	14.90	m
部屋(個別詳細)	479	バルコニーウッドパネル枚数	0.00	組
バルコニー(個別)	79	フラワ-ボックス	0.00	ヶ
	80	フラワ-ボックス長さ	0.00	m
	81	窓庇	0.00	ヶ
	82	窓庇長さ	0.00	m

・修正後

1ヶ所で算出

積算数量確認

表示リスト	No	項目名	数量	単位
基本数量	499	外天井下部外壁見切長	0.00	m
面積関連	500	外天井上部外壁見切長	0.00	m
積算関連	72	バルコニー	1.00	ヶ
屋根関連	661	バルコニー入刀心面積	9.93	m ²
外部関連	73	バルコニー床面積	8.62	m ²
敷地関連	74	バルコニー底部面積	6.77	m ²
基礎伏	75	バルコニー部壁側壁面積	9.65	m ²
構造関連	8250	バルコニー外壁側壁面積	12.97	m ²
外部建具	76	バルコニー手摺壁長さ	10.79	m
出窓	8214	バルコニー手摺壁芯長さ	18.20	m
内部建具	77	バルコニー面格子	0.00	ヶ
建具付属	78	バルコニー面格子開口面積	0.00	m ²
部屋(集約)	477	バルコニー周長	18.20	m
室内関連	478	バルコニー下端水切り長	14.90	m
部屋(個別)	479	バルコニーウッドパネル枚数	0.00	組
部屋(個別詳細)	79	フラワ-ボックス	0.00	ヶ
バルコニー(個別)	80	フラワ-ボックス長さ	0.00	m
	81	窓庇	0.00	ヶ
	82	窓庇長さ	0.00	m



4. 構造関連の機能改善

4-1. 垂木入力機能の改善

垂木のプロパティで入力基準を『基準高指定』で設定して入力し、物件終了後再度物件を開きその垂木を選択すると入力基準が『自動』になっていましたが、物件を再開した時、前回設定時の入力基準設定になるように改善しました。

<前回『基準高指定』で設定し、物件終了後再度物件を開いた時の垂木のプロパティ画面>

・修正前

『自動』になっている

編集: 垂木

追加... 更新...

プロパティ

材種(T): 垂木

入力基準(I): 自動

基準点高(H): 0

勾配(K): 5

オフセット量(O): 0

伸び戻り量ユーザ指定(U)

始点(S): 0

終点(E): 0

材情報

材幅(W): 45

材成(H): 60

樹種(J): 米松

等級(B): 1等

定尺(L): 4000

半自動入力(A)

・修正後

『基準高指定』になっている

編集: 垂木

追加... 更新...

プロパティ

材種(T): 垂木

入力基準(I): 基準高指定

基準点高(H): 0

勾配(K): 5

オフセット量(O): 0

伸び戻り量ユーザ指定(U)

始点(S): 0

終点(E): 0

材情報

材幅(W): 45

材成(H): 60

樹種(J): 米松

等級(B): 1等

定尺(L): 4000

半自動入力(A)



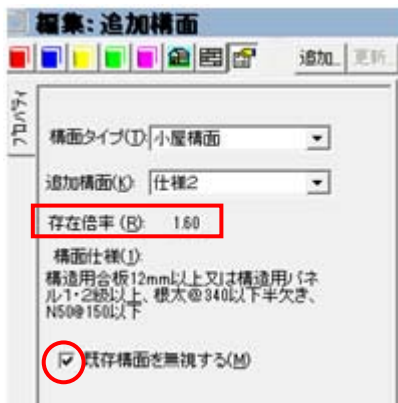
5. 性能表示の機能改善

5-1. 構造の安定の平屋対応

構造の安定において平屋で床倍率関係の計算や設計図書出力、金物配置をできるように改善しました。

1) 構面画面

プロパティ



・修正前

構面画面に追加構面の床倍率が反映されていない＝計算に反映されない



・修正後

構面画面に追加構面の床倍率が反映されている＝計算に反映される





2) 一覧表

・修正前

追加構面が反映されず正しい床倍率計算がされない

性能表示 (壁量計算表)

総合判定	準備計算 1	準備計算 2	1階壁量	等級別判定	1階通
<X軸方向> Y9 - Y7					
元領域[0]			(1820.0, 6370.0)		
元領域[1]			(-7280.0, 6370.0)		
元領域[2]			(-7280.0, 4550.0)		
元領域[3]			(1820.0, 4550.0)		
=== 下屋なし ===					
=== 吹抜なし ===					
=== バルコニーなし ===					
計算ルート: a			平均存在床倍率	2.000	

・修正後

追加構面が反映される

性能表示 (壁量計算表)

総合判定	準備計算 1	準備計算 2	1階壁量	等級別判定	1階通り別	床倍率
<X軸方向> Y9 - Y7						
元領域[0]			(1820.0, 6370.0)			
元領域[1]			(-7280.0, 6370.0)			
元領域[2]			(-7280.0, 4550.0)			
元領域[3]			(1820.0, 4550.0)			
=== 全て下屋 ===						
=== 吹抜なし ===						
=== バルコニーなし ===						
計算ルート: a			平均存在床倍率	1.600		



3) 設計図書

・修正前

平均存在床倍率が正しくない

X IX 平均存在床倍率 = $\frac{(X V)+(X VII)}{(VI)}$ +火打構面の倍率 (リスト2のIV)	床倍率の判定		床梁・小屋梁の X X II 必要接合部 倍率を計算 式によって 求める部位 計算が必要 な部位 に○
	X X 地震に対する 床倍率のチェック $(X IX) \geq (IX)$ なら適	X X I 風に対する 床倍率のチェック $(X IX) \geq (X II)$ なら適	
$2.00 + 0.00 = 2.00$	適	適	
$2.00 + 0.00 = 2.00$	適	適	
$2.00 + 0.00 = 2.00$	適	適	
$2.00 + 0.00 = 2.00$	適	適	
$2.00 + 0.00 = 2.00$	適	適	
$2.00 + 0.00 = 2.00$	適	適	

・修正後

平均存在床倍率が正しい

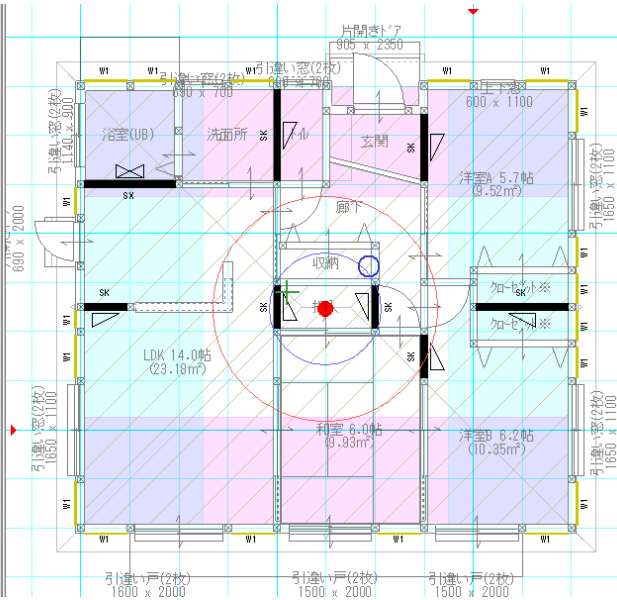
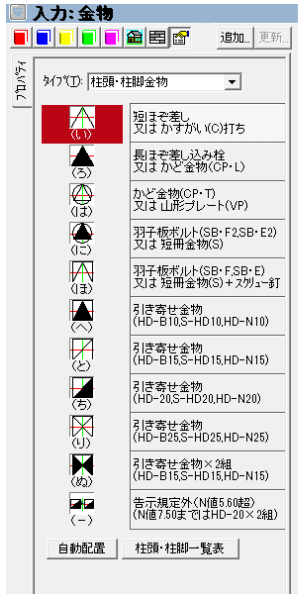
X IX 平均存在床倍率 = $\frac{(X V)+(X VII)}{(VI)}$ +火打構面の倍率 (リスト2のIV)	床倍率の判定		床梁・小屋梁の X X II 必要接合部 倍率を計算 式によって 求める部位 計算が必要 な部位 に○
	X X 地震に対する 床倍率のチェック $(X IX) \geq (IX)$ なら適	X X I 風に対する 床倍率のチェック $(X IX) \geq (X II)$ なら適	
$1.60 + 0.00 = 1.60$	適	適	
$1.60 + 0.00 = 1.60$	適	適	
$1.60 + 0.00 = 1.60$	適	適	
$1.60 + 0.00 = 1.60$	適	適	
$1.60 + 0.00 = 1.60$	適	適	○ 下屋付け根
$1.60 + 0.00 = 1.60$	適	適	



4) 金物自動配置

・修正前

金物自動配置が出来ない



・修正後

金物自動配置ができる

